



# 難防除害虫に効く コテツ®フロアブル

® = BASF社の登録商標

- 登録作物が多い
- 幅広い害虫種に優れた効果
- 同時防除に最適

## ■ 適用害虫と使用方法

\*本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)または使用量	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	使用*回数	使用方法			
りんご	キンモンホソガ、ナミハダニ、ハマキムシ類、ミノガ類	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
	ヨモギエダシャク、リンゴサビダニ	2000~4000							
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000		200~700			収穫7日前まで	2回	散布
	モモハモグリガ、カンザワハダニ、ナミハダニ、モモサビダニ、ウメシロカイガラムシ								
ネクターリン	ミカンキイロアザミウマ	2000~4000		200~700			収穫7日前まで	2回	散布
	ナミハダニ、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、オウトウショウジョウバエ、ウメシロカイガラムシ	2000							
ぶどう	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ、ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ	2000~4000		200~700			収穫60日前まで	2回	散布
	ナミハダニ、カンザワハダニ、ハスモンヨトウ、トビイロトラガ、モンキクロノメイガ、ミノガ類、コガネムシ類、ブドウハモグリダニ	2000							
かき	ナミハダニ、カンザワハダニ	2000~4000		200~700			収穫14日前まで	3回	散布
	カキノヘタムシガ、イラガ類、アザミウマ類、カキサビダニ								
なし	ナミハダニ、カンザワハダニ、ニセナシサビダニ	2000~3000	200~700	収穫14日前まで	3回	散布			
	ヨモギエダシャク、チャノキイロアザミウマ	2000							
かんきつ	ヨモギエダシャク、ハスモンヨトウ、リュウキュウミカンサビダニ、カネタタキ、スグリソウムシ	2000~4000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
	アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)、チャノホコリダニ、ミカンサビダニ	2000~6000							
いちじく	ヒラズハナアザミウマ、カンザワハダニ	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
小粒核果類(すももを除く)	オウトウハダニ、ウメシロカイガラムシ								
すもも	オウトウハダニ、ウメシロカイガラムシ、イラガ類								
キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ、コガネムシ類								
マンゴー	チャノキイロアザミウマ								
ゴレンシ	カンザワハダニ								
ブルーベリー	イラガ類、オウトウショウジョウバエ								
あずき	ハダニ類、ノメイガ類								
豆類(未成熟、ただし、さやいんげん、さやえんどう、実えんどうを除く)	ハダニ類								
実えんどう	ハダニ類、ハスモンヨトウ								
さやえんどう	ハダニ類、アズキノメイガ								
さやいんげん	ハダニ類、アズキノメイガ								
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類、ウリノメイガ、ウリハムシ	4000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
うり類(漬物用)	ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類								
すいか	ミナミキイロアザミウマ	4000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
	ハダニ類、オオタバコガ、ウリノメイガ								
にがうり	ミナミキイロアザミウマ	2000	200~700	収穫前日まで	3回	散布			
かぼちゃ(日本かぼちゃ)	ミナミキイロアザミウマ								
トマト	オオタバコガ、ミカンキイロアザミウマ、ナミハダニ、トマトサビダニ	2000	200~700	収穫前日まで	4回	散布			
ミニトマト	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、チャノホコリダニ、ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、テントウムシダマシ類								
なす	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、ハダニ類	4000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
ピーマンとうがらし類(ししとうを除く)	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、ハダニ類								
ししとう	ヒラズハナアザミウマ	4000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
キャベツ	コナガ、アオムシ、タマナギンウワバ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、ハイマダラノメイガ								
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	2000	200~700	収穫3日前まで	2回	散布			
茎ブロッコリー	アオムシ								
カリフラワー	コナガ	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
メキャベツ	ハスモンヨトウ								
非結球メキャベツ	ハスモンヨトウ	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
なばな	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、カブラノビチ								
はくさい	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、カブラノビチ	2000	200~700	収穫前日まで	1回	散布			
非結球あぶらな科葉菜類(こまつば、ひろしまな、チンゲンサイ、さんとうさいを除く)	コナガ								
チンゲンサイ	コナガ	2000	200~700	収穫前日まで	1回	散布			
さんとうさい	アオムシ、コナガ、ハクサイダニ								
こまつな	アオムシ、コナガ	2000	200~700	収穫前日まで	2回	散布			
ひろしまな	アオムシ、コナガ								
だいこん	アオムシ、コナガ、ダイコンサルハムシ	2000	200~700	収穫14日前まで	2回	散布			

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	使用*回数	使用方法

有効成分：クロロフェニル…10.0% 毒性：医薬用外劇物



- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、以下のことに注意してください。
  - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
  - ②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
- ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調製した後にボルドー液と混合してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布してください。
- きゅうり・なす・はくさい・だいこん・非結球あぶらな科葉菜類・なばなおよびセルリーの幼苗期に使用すると薬害を生じることがあるので注意してください。
- ビーマン・とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。
- かき(刀根早生など)の着色期の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- すいかに使用する場合、葉に薬害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められていません。
- にかうりの幼苗期には薬害を生じるので、定植前には使用しないでください。定植後のにかうりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の薬害を生じることがあるので、予備散布により薬害のでないことを確認してから散布してください。
- 西洋かぼちゃ(黒皮栗・青皮栗・えびす・雪化粧・みやこ・黒皮甘栗・栗味・栗マロン・芳香等)には薬害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの薬害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。
- ぼら・食用ミニバラに本剤を初めて使用する場合は、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- カーネーションへの散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- シクラメンに使用する場合、新葉に薬害を生じる場合があるので、薬害の出ないことを事前確認してから散布してください。
- 周辺の作物にかかると薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
  - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
  - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
  - ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種

\*1 花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する

\*2 花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで \*3 但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで \*4 使用量

太字の箇所は2020年8月26日現在、適用拡大事項。

水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。